

病理学第一室

当時の教室員は竹内清教授、保野正之助教授と、技工嘱託の中村繁治氏、技術嘱託の高谷重雄氏、雇の井手口貞市、田川甚蔵、池田等、小野輝子、岡田綾子の諸氏であつた。

被爆時の状況

竹内教授は鳴滝の自宅に結核療養中で難を免る。保野助教授は下宿（永井隆助教授宅）で爆死。中村、高谷、池田、小野、岡田の諸氏は教室玄關前の防空壕附近で、井手口、田川の両氏は金比羅山麓に小使室を移築中、現場で被爆。一週間後井手口は死亡。中村繁治氏は数日後御船蔵町の自宅で死亡。高谷氏は行方不明。

故竹内清教授略歴

- 従三位勲二等医学博士 病理学教授
- 明治二十四年七月十六日兵庫県に生る
- 大正四年十二月九州帝国大学医学部卒業
- 大正六年一月九州帝国大学助手に任ぜらる
- 大正八年六月九州帝国大学助教授に任ぜらる
- 大正十二年六月長崎医科大学助教授に任ぜらる
- 同 年同月病理学と病理解剖学研究のため欧米に留学
- 同 十四年十二月帰朝す
- 大正十五年三月長崎医科大学教授に任ぜらる
- 昭和十一年五月欧米各国に出張を命ぜられ同年一月帰朝す

昭和十二年一月陸絨高等官一等
 昭和十四年二月満洲国及び中華民國に出張を命ぜられ同年三月帰朝
 昭和二十一年四月十九日病を得て卒す

主なる研究題目

結核病変の組織発生学に関する研究

死亡者の官職並に氏名

官 職	氏 名
助 教 授	保 野 正 之
技 工 嘱 託	中 村 繁 治
技 術 嘱 託	高 谷 重 雄
雇	井 手 口 貞 市
"	小 野 輝 子
" 傭 人	池 田 等
"	岡 田 綾 子